

2 前提条件

本書における見積もり算出のための前提条件を以下に示します。

2.1 システム概要に関する前提条件

市町村で開発する必要がある機能範囲を把握するために、現時点で想定される標準システムの機能概要として、機能一覧及び出力帳票一覧を記載しています。

詳細のシステム機能については、今後の制度検討を受けて提示することになります。

2.2 システム構成に関する前提条件

標準システムを稼働させるために必要なインフラ資源などの概算費用を見積るため、見積もり前提としてのシステム構成、ネットワーク構成、その他に必要な作業や留意事項などを記載しています。

この考え方をういて別添の「広域連合及び市町村概算費用 算出表」および「広域連合及び市町村のネットワークに関する概算費用」に必要な数量などを入力し、概算見積額を把握することができます。

標準システムで想定していないネットワーク構成や、カスタマイズでの機能追加、セキュリティ強化などを目的とする追加構成などについても、本書の記載範囲外となりますので、必要に応じて各広域連合における考え方にあわせて別途見積もりを行ってください。

なお、機器の見積もりを算出する上で、システム構成に関しては以下の前提条件を設定しています。これらの前提条件につきましては、最終的な調達仕様を指定するものではありませんので、ご了承ください。

2.2.1 ハードウェアについて

(1) ハードウェア構成

- ハードウェアのスペックは、今後の標準システム（業務機能）の設計により性能および信頼性要件などを踏まえて確定がされていきます。現時点では、過小見積もりを防ぐ観点から、ハードウェアのスペックについては、一般的な Web システムより高めのスペックにて設定しています。
- 本書のハードウェア構成に含めているメールサーバの導入は任意です。各広域連合の運用に応じて要否を検討してください。
- 本書におけるハードウェア構成は LGWAN を前提としたハードウェア構成としています。LGWAN 以外のネットワークを利用する場合、利用形態によって広域内連携サーバなど、要否が異なる機器がありますので、各広域連合のセキュリティポリシーに従い検討してください。

(2) ハードウェアの費用

- 別添の「広域連合及び市町村概算費用 算出表」における費用は、メーカー希望標準価格相当で算出しています。
- 各サーバにて共通で必要となるラックや電源（UPS）等は、サーバ共通機器として含めています。なお、広域連合内の各サーバについては、省スペース化及び拡張性の観点からブレードサーバを想定し、ブレードサーバに関わる共通機器についても、サーバ共通機器に含めています。